



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 道内初の「和牛五輪」

### 27年開催 地元ブランドPRへ

道は25日、全国の代表として出品される500頭前後の牛の品質を競う「全国和牛能力共進会(全共)」が2027年に道内で初めて開催されると発表した。5年に1度開かれる「和牛のオリンピック」とも言われる大会で、道産和牛のブランド価値向上を目指す。

主催する全国和牛登録協会(京都市)が同日の理事会で決定した。開催は10月ごろになるとみられ、道は来年3月にも準備組織を発足させ、会場となる自治体や詳細な日程を検討する。全共は、和牛の改良を通

じた産地の生産基盤強化を狙い、1966年に初めて開かれ、道内生産者は77年大会から出品している。2027年は13回目。

道は畜産農家の経営強化を目指す取り組みの一環で、今夏に全共誘致に向けた推進協議会を立ち上げており、「共進会を機に『北海道ブランド』をさらに広めたい。道民による牛肉消費が増えるきっかけにもなれば」(道畜産振興課)と期待を込める。期間中は数万人規模の関係者の来場も見込まれるという。

(福本泰範)

2020年11月26日 朝刊 全道版 13ページ (記事は一部再編集しています)

①「和牛のオリンピック」とも言われる全国和牛能力共進会では、何を競いますか。

②2027年に北海道で全国和牛能力共進会が開かれることの良さは何ですか。できるだけたくさん書きましょう。